





高性能
ホームシアター
プロジェクタ





ユーザーズマニュアル

CE Trademarks

FCC Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

目次

目次

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

	
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味



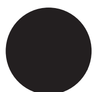
この記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例)  「感電注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為(やってはいけないこと)を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

安全上のご注意

注意 ⚠


禁止

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレー、ス　ピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所


禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。
- 落としたり、衝撃を加えない。万一、落としたり、衝撃を与えた場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- 不安定な場所におかない。
- 不安定な置き方をしない。


厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりした場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。


厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。
- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

 厳守	長時間に渡って映像をみる場合は一定の間隔で休憩をとってください。
 禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
 禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
 厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
 厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。 ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
 禁止	リモコンは、指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。 指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。 また、リモコンは濡らさないでください。故障したり、誤押の原因となります。
 厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
 厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。
 注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告 ⚠


厳守

煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。


水濡れ

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。


厳守

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。


禁止

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気口（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、通気口の近くや本体の上にリモコンなどの物を置かないで下さい。


禁止

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。
火災の原因となることがあります。


厳守

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。


分解禁止

改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。


禁止

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通気口には異物がはいらないよう注意してください。


禁止

ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。万一、落としたり衝撃を与えた場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。


禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。
レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

 禁止	リモコンのレーザー光を人の目にあてたりしないでください。目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスIIレーザーが装備されています。
 禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わるところ ● 不安定なところ ● 通気口(レンズに向かって右側面と、背面)がふさがるとこ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
 禁止	使用中や使用後は通気口(レンズのある面)およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。
 厳守	ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。
 禁止	ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
 厳守	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。
 厳守	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で触らないでください。濡れた手で触ると感電の原因になります。

安全上のご注意


禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。


厳守

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。


禁止

（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。


厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。


禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。
液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。


厳守


注意


発火注意

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。


厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- ●風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通気口(レンズに向かって右側面と背面)をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- ●高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具(ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど)の近くに設置しないでください。
- ●屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- ●設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- ●油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- ●振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- ●画面との距離を適度にとってご覧ください。
- ●長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- ●レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- ●水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- ●清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

使用上のご注意

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本マニュアルについて

本マニュアルはHD81での使用に合わせて設計されています。本書の情報は、万全を期して作成していますが、内容の正確さについてはいかなる保証もいたしません。本書の情報は、将来予告なしに変更することがあります。

著作権

商標

すべての商標と登録商標は、それぞれの所有者の所有物です。

FCC準拠

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、

(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

CE 準拠

本製品はCE指令に準拠しています。

米連邦通信委員会(FCC)声明

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

安全に関する情報

⚠(稲妻)	矢の付いた稲妻の形をした灰色の正三角形は、製品パッケージ内に絶縁していない感電の恐れがある危険電圧が存在することを警告するためのものです。
⚠(感嘆符)	正三角形に感嘆符のある記号は、製品の操作および保守点検(修理)に関する重要な指示を示します。

警告: 火災や感電の危険を軽減するため、本製品に雨や水気がかからないようにしてください。本製品内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。修理は必ず有資格者に依頼してください。

クラス B 電波障害規制

このクラス B 装置は、カナダ電波障害発生装置規則のすべての要件を満たしています。

安全に関する重要なご注意

1. ご使用の前に必ずお読みください。
2. いつでも見られるところに必ず保管してください。
3. すべての注意事項をお守りください。
4. 製造元の指示に従って設置してください。

   A. 通気口を塞がないでください
   本製品の安定した作動を確保し、オーバーヒートを避けるため、プロジェクターを適切な通気の妨害がない場所に置いてください。たとえば、ベッドやソファー、カーペットなど、通気口が塞がれる可能性のある所には置かないでください。通気口から空気が流れないような本棚やキャビネットなどの囲まれた場所に置かないでください。

   B. 本プロジェクターを水気の多い場所で使用しないでください。 火災や感電の危険を軽減するため、本プロジェクターに雨や水気がかからないようにしてください。

   C. 熱を発生するラジエータ、ストーブ、その他の器具(アンプなど)といった熱器具の近くに設置しないでください。
5. 必ず乾いた布で拭いてください。
6. 製造元が指定した部品/付属品のみを使用してください。
7. 修理は必ず専門技術者に依頼してください。次のようにプロジェクターが破損した場合は、修理が必要になります。
   - 電源コードのプラグなどが破損した。
   - 液が漏れたり、プロジェクターに物が入った。
   - プロジェクターに雨や水気がかかり、正常に動作しない。またはプロジェクターを落とした。

   プロジェクターをご自分で修理しないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険電圧やその他の危険が生じる恐れがあります。Optomaに最寄りの認定修理センターをお尋ねください。
8. プロジェクターに物や液体が入らないようにしてください。危険な電圧点に触れたり部品がショートすると、火災や感電の原因になります。
9. プロジェクターのケースに記載の安全に関する記号を確認してください。
10. プロジェクターの調整や修理は、必ず専門技術者が行ってください。

安全上のご注意



本製品を安全に正しくお使いいただくために、本取扱説明書に記載のすべての警告、注意事項、メンテナンス方法をお守りください。

- 警告- ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。
- 警告- 火災や感電の原因となるため、このプロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告- 本製品のカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。
- 警告- ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。詳細は66ページをご参照ください。
- 警告- このプロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- 警告- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの[システム]--> [プロジェクター設定]--> [ランプ]にある「ランプリセット」機能をリセットしてください(53ページを参照してください)。
- 警告- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したのを確認してから電源コードを抜いてください。90秒間プロジェクターを冷却してください。
- 警告- プロジェクターが動作中は、レンズキャップを使用しないでください。
- 警告- ランプの寿命が切れかかると、「ランプを交換してください」というメッセージが表示されます。お近くの販売店やサービスセンターにご連絡し、すぐにランプを交換してください。



❖ ランプの寿命が近づくと、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタを使用できません。「ランプの交換」(66ページ)に記載の手順に従ってランプを交換してください。

使用上のご注意

推奨事項：

- お手入れをするときは、プロジェクターの電源を切ってください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- 装置の通風用スロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

眼の安全保護について



- プロジェクターの光源に直接注視しないでください。
- プロジェクターの光源に向いて立たないでください。出来る限り、離れてください。
- ユーザーにレーザー光が当たらないようにするため、スティックやレーザーポインタの使用をお勧めします。
- ランプの必要な電力を最小限にするため、カーテンを使って周囲光を遮ってください。

推奨

HD81のパフォーマンスを発揮するために、加工処理されていない元の形でビデオの内容を入力するようにお勧めします。 この操作はHD81のすべての機能を使用してデインタレース、スケーリングおよびイメージエンハンスメントを行います。 例えば、480i/576iデジタル形式でビデオ信号を出力できるHDMI DVDプレーヤーをお使いの場合、DVDプレーヤーで加工処理せずにHD81に直接送るようにお勧めします。 これによりHD81にオリジナルのデジタルビデオストリームが取り込まれ、HD81がそのスタジオグレードのビデオ処理を完全に行います。

一般に、当社では以下を推奨します。

可能であれば、デジタル出力(DVD、D-VHS、DTVセットアップボックスなど)を使用します。 デジタル出力をご使用できない場合、短くて高品質コンポーネントケーブルと共にコンポーネント出力端子(YPbPr)を使用します。

ビデオソースの内部デインタレースまたはスケーラーの品質が分からない場合、インタレースされたコンポーネント出力に接続してHD81で自動処理を行います。

可能であれば、ビデオソース(DVD、D-VHS、HDTV STB)で特別なビデオ処理を行ってください。

一部のHDTV STBモデルが720p形式から1080iを出力してスケール変換を行う場合もあります。 そのネイティブ信号形式で1080iの出力を試み、HD81でデインタレースとスケーリングを自動実行します。

すべてのHDMI DVDプレーヤーがデジタルインタレース出力(480i/576i)を行うわけではありません。 これらの製品の場合、まず480p/576pを試み、続いて720pと1080iを試みるようにお勧めします。 出力解像度の完全な範囲を表示した後に、ユーザーはどれが最高の画像品質であるかを判断し、その解像度に対してHD81を設定することができます。

多くの高性能アナログ出力DVDプレーヤーには、12ビットまたは14ビットで処理された高品質DACが付属しています。

この場合も、ユーザーはまずその480i/576i出力をHD81に設定するように試みる必要があります。

HD81 には、コンポーネントビデオ入力用のBNCコネクタが付属しています。 ユーザーがアナログコンポーネントを使用してそのビデオソースに接続しようとしている場合、最高の画像品質を得るには、BNCコネクタを使用するようにお勧めします。

レーザーディスクプレーヤーまたはS-VHSデッキに接続している場合、S-ビデオ出力接続を使用してHD81に接続するようにお勧めします。

オーディオおよびビデオ機器をそれぞれ異なるコンセントに差し込むのが望ましいと言えます。

製品の特長

HD81は真の1080Pシングルチップ0.95″DLP™プロジェクターです。内蔵の完全な機能を搭載した、オールデジタル、ビデオプロセッサは最新式のスケーリング機能を組み込み、すべてのビデオ信号を増強するように設計されています。HD81では、また最高のインソースコンテンツスイッチング、イメージデインタレース、およびカラー管理も行えます。HDMI接続だけでなくその他多くの業界標準入力、他に例を見ないスケーリングおよびデインタレースを組み込んだすべてのコンテンツソースも幅広く使用することによって。HD81のボックスは他の従来のビデオプロセッサの及ばない性能を実現しています。それぞれのビデオソースを微調整して、表示用の最高の組み合わせを得ることができます。

- 完全な10ビットビデオ処理(復号化、デインタレース、スケーリング、イメージエンハンスメントおよびカラー)
- シングル16:9 1920 x 1080 Dark Chip3™ DLP™テクノロジ
- 7セグメントのカラーホイールR/B/GND/G//R/B/Gサイクルを使用
- Gennum VXPビデオプロセッサチップ
- スタジオグレードの480i/576i標準定義デインタレースおよび1080i高精細度デインタレース
- それぞれの入力解像度用に最適化されたスケーリング
- ビデオ互換性:
  - 480i-NTSC, NTSC4.43
  - 586i-PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
  - HDTV 互換(480p,576p,720p,1080i)
  - RGB 信号: HD,XGA,SVGA,VGA リサイジング
- 全機能対応 赤外線リモコン(バックライト付)
- Macintosh 互換
- Optomaの特許出願中O_2Air™ Photo Catalyst空気浄化技術
- 独自のカラー管理チップセット

- 3 x HDMI 入力、4 xコンポーネント入力(2 x RCAおよび 2 x BNC)、3 x S-ビデオおよび3 xコンポジット入力
- 固有のHDMIスイッチングで、HDMIオーディオをHDMI対応A/Vレシーバーに出力
- ビデオカメラ、ノートPCおよびその他のビデオソース用の前面パネル入力
- 最新式のビデオエンハンスメントエンジンには、以下が含まれます:
  - 鮮明なカラーエンジン – それぞれの色ごとに独立して9つの領域上でRGBCYM色濃度/色合いの強化を提供
  - エッジシャープニングエンジン – 最新式のユーザー定義可能、境界制限機能の最大化
  - 自動コントラストエンジン – シーン依存の白黒増強でより大きな写真に対応
  - 適応ノイズリダクションエンジン – シーン固有のノイズリダクションが細部や鮮明さに影響を与えずに、不要な画像ノイズを除去
  - イメージガンマエンジン – ユーザーは9つの領域で独自のガンマカーブを定義できます

パッケージ内容

本製品は標準で以下に示すアクセサリとアイテムを装備して出荷されています。付属品が足りないときや破損しているときは、直ちに販売店にご連絡ください。


HD81のビデオボックス X 1


レンズキャップ付プロジェクター


電源コード(1.8m) X 2
▪ プロジェクター用3ピン
▪ ボックス用2ピン


プロジェクター接続用HDMI対HDMIケーブル(2m) X 1


IRモジュール X 1


HDMI対HDMIケーブル (15cm) X 1


YPbPr用RCAコンポーネントケーブル (2cm) X 1


RS232ケーブル(2m) X 2



❖ 国により、梱包されるアイテムが異なります。


赤外線リモコン X 1


単四電池 X 2

ヨーロッパ地域のみ


SCART RGB/S-ビデオアダプタ


VGA ケーブル(1.8m)

文書:

- ☑ ユーザーズマニュアル
- ☑ 保証書
- ☑ クイックスタートカード

電源コードについて注意事項:

1. **必ずアース接続を行ってください。**
2. **アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。**
3. **本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海内での使用できません。**

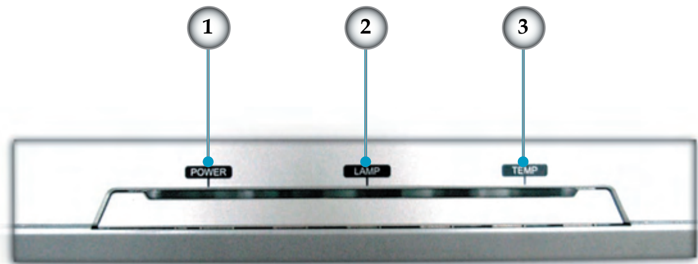
製品の各部名称

プロジェクターの部品



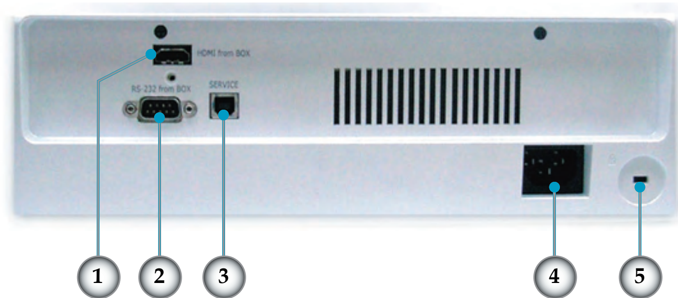
1. コントロールパネル
2. ズームレバー
3. フォーカスリング
4. エレベータボタン(両側各1個)
5. エレベータフット
6. ズームレンズ
7. 赤外線レシーバー
8. 接続端子
9. 電源ソケットおよびメインの電源スイッチ
10. チルト調整フット

コントロールパネル



1. 電源LED
2. ランプインジケータ LED
3. 温度インジケータ LED

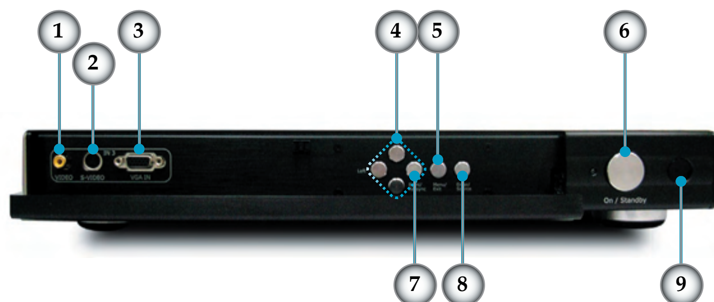
接続端子



1. HDMI コネクタ
2. RS232 入力コネクタ
3. USB 入力コネクタ
4. 電源ソケットおよびメインの電源スイッチ
5. Kensington™ ロックポート

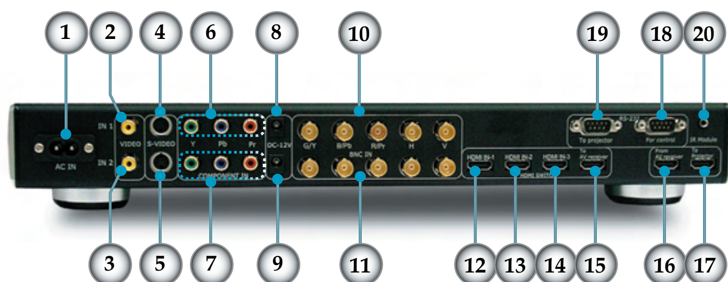
ビデオボックスの部品

前面パネル



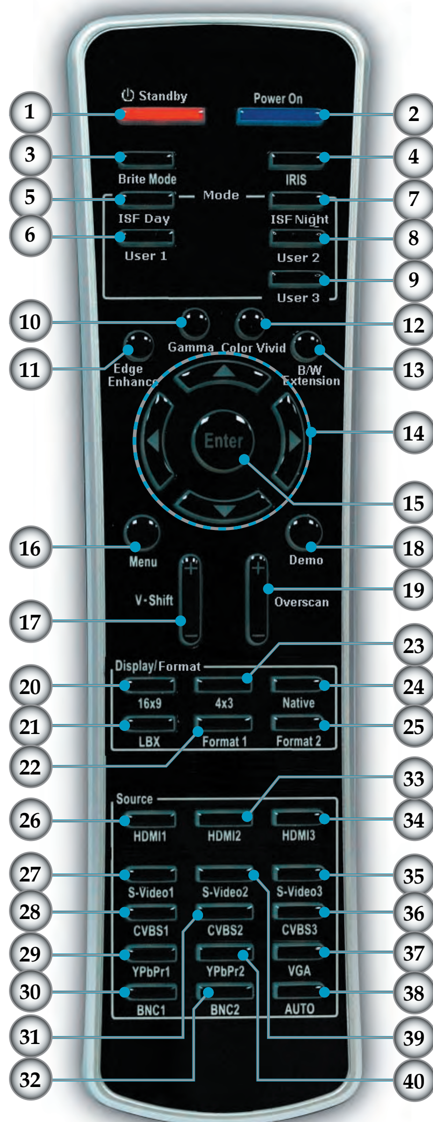
1. コンポジット3/CVBS 3 (NTSC、PAL、SECAM)
2. S-ビデオ3 (NTSC、PAL、SECAM)
3. VGA (RGB、RGBS(SCART RGB))
4. 4方向選択キー
5. メニュー(オン/オフ)
6. オン/スタンバイ
7. Re-Sync(再同期)
8. Enter/ソース選択
9. 赤外線レシーバー

背面パネル



1. AC イン
2. コンポジット1/CVBS 1 (NTSC、PAL、SECAM)
3. コンポジット2/CVBS 2 (NTSC、PAL、SECAM)
4. S-ビデオ1 (NTSC、PAL、SECAM)
5. S-ビデオ2 (NTSC、PAL、SECAM)
6. コンポーネントYPbPr/BNC 1 (NTSC、PALおよびSECAM、480i/p、576i/p、720pおよび1080i)
7. コンポーネントYPbPr/BNC 2 (NTSC、PALおよびSECAM、480i/p、576i/p、720pおよび1080i)
8. DC 12V 出力
9. DC 12V 出力(プログラマブル)
10. YPbPr/RGBHV 1 (RGBHV、RGBS (SCART RGB)、NTSC、PALおよびSECAM、480i/p、576i/p、720pおよび1080i)
11. YPbPr/RGBHV 2 (RGBHV、RGBS (SCART RGB)、NTSC、PALおよびSECAM、480i/p、576i/p、720pおよび1080i)
12. HDMI 1 (480i/p、 576i/p、 720p および 1080i/p)
13. HDMI 2 (480i/p、 576i/p、 720p および 1080i/p)
14. HDMI 3 (480i/p、 576i/p、 720p および 1080i/p)
15. HDMI 対AVレシーバー
16. HDMI (AVレシーバーから)
17. プロジェクターに
18. 制御用RS232
19. RS232 (プロジェクターへ)
20. 赤外線モジュール

リモコン



1. スタンバイ
2. 電源オン
3. ブライトモード
4. IRIS
5. ISF Day
6. User 1
7. ISF Night
8. User 2
9. User 3
10. ガンマ
11. Edge Enhance
12. Color Vivid
13. B/W Extension
14. 4方向選択キー
15. Enter
16. メニュー
17. V.Shit +/-
18. Demo
19. Overscan
20. 16x9 フォーマット
21. LBXフォーマット
22. フォーマット1
23. 4x3 フォーマット
24. Native フォーマット
25. フォーマット 2
26. HDMI 1
27. S-Video 1
28. CVBS 1
29. YPbPr 1
30. BNC 1
31. CVBS 2
32. BNC 2
33. HDMI 2
34. HDMI 3
35. S-Video 3
36. CVBS 3
37. VGA
38. 自動
39. S-Video 2
40. YPbPr 2

プロジェクターの接続



❖ 付属品は国によって異なる場合があります。

1. ....電源コード
2. .... HDMI 対HDMI(プロジェクターへ)
3. ....RS232 ケーブル(プロジェクターへ)
4. ....HDMI 対HDMI (ジャンパ) : 詳細は19ページをご参照ください
5. ....HDMI 対 HDMI
6. ....YPbPr/RGBHV (BNC)
7. ....YPbPr/RGBHV (RCA)
8. .... S-ビデオケーブル
9. .... コンポジットビデオケーブル
10. .... SCART RGB/S-ビデオアダプタ(ヨーロッパ地域のみ)
11. .... VGAケーブル(ヨーロッパ地域のみ)

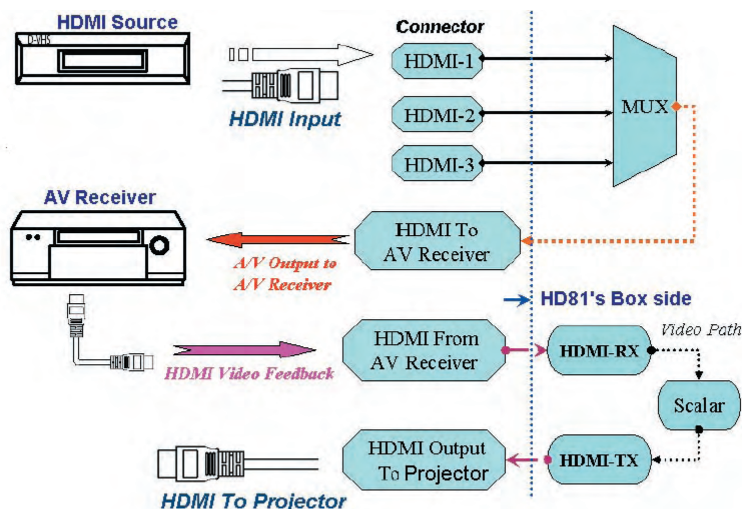
HD81をAVレシーバーに接続する

既存のエンタテインメントシステムに統合しているとき最大の柔軟性を出すために、HD81ビデオボックスには2つのHDMI出力が搭載されています。1つの出力は信号をプロジェクターに直接送信し、もう1つの出力は信号をHDMI装備のAVレシーバーに送信します。HD81のビデオボックスからHDMI出力に接続する方法は、3通りあります。

オプション1
ビデオソースセレクタとしてHD81のビデオボックス、およびオーディオ用のHDMIを装備したAVを使用する:

HDMI装備のAVレシーバーを使用していてオーディオ信号をレシーバーに送信したいが、ビデオソースセレクタとしてHD81のボックスを使用している場合:

1) ビデオソースをHD81のビデオボックスに接続します。
2) HDMIケーブルをHD81のビデオボックス背面の「AVレシーバーに」ポートに取り付けます。他の端をAVレシーバーに接続します。これにより、AVレシーバーによりオーディオ信号を制御することができます。
3) A2番目のHDMIケーブルをAVレシーバー背面のAV出力ポートに取り付けます。他の端をHD81のビデオボックス背面の「AVレシーバーから」に接続します。これにより、「パススルー」モードでビデオ信号が返されます。
4) HDMIケーブルをHD81のボックス側の「プロジェクターに」に接続します。他の端をHD81のプロジェクター側に接続します。

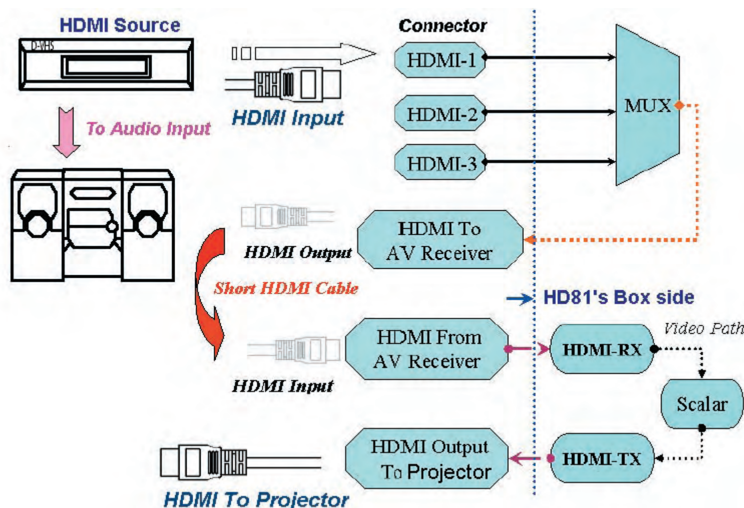


オプション2

ビデオソースセレクタとしてHD81を使用し、AVレシーバーにビデオソースを直接接続する:

HDMI装備のAVレシーバーをお持ちでない場合、適切なオーディオ接続を確実にするためには、ビデオソースからレシーバーにオーディオアウトを直接接続する必要があります。HD81はビデオ信号を処理するためだけに使用されます。

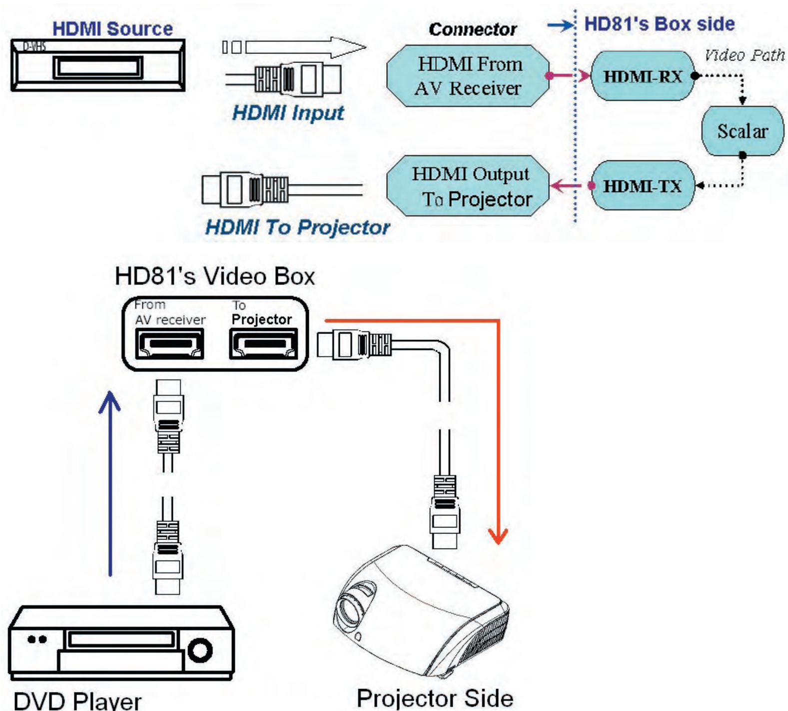
1) ビデオソースをHD81のビデオボックスに接続します。
2) ビデオソースのオーディオをレシーバーに直接接続します。
3) 装置に標準で付属する短いHDMIケーブルをHD81のビデオボックス背面の「AVレシーバーに」ポートに取り付けます。他の端をHD81のビデオボックス背面の「AVレシーバーから」ポートに接続します。これにより、ビデオ信号を適切に管理することができます。
4) HDMIケーブルをHD81のボックス側の「プロジェクターに」に接続します。他の端をHD81のプロジェクター側に接続します。



オプション 3

HDMI信号ソースを使用している場合、HD81のビデオボックス背面の「AVレシーバーから」ポートにビデオソースを直接取り付けることができます。2番目のHDMIケーブルをHD81のビデオボックス背面の「プロジェクターに」ポートに接続し、他の端をHD81のプロジェクター側に取り付けます。

この設定では、HD81用のプロジェクターの高解像度ビデオのみが処理されます。


HDMI Source
D-VHS
HDMI Input
Connector
HD81's Box side
HDMI From AV Receiver
HDMI-RX
Video Path
Scalar
HDMI Output To Projector
HDMI-TX
HDMI To Projector
HD81's Video Box
From AV receiver
To Projector
DVD Player
Projector Side

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. レンズキャップを取り外します。❶
2. プロジェクターとボックスの(1)電源コードおよび(2) HDMI対HDMI、およびボックスから出るRS-232ケーブルがプロジェクターの信号ケーブルに、(3)信号ケーブルがボックスにしっかり接続され、ボックス側のメインの電源が入っていることを確認します。プロジェクター側とボックス側の電源LEDが**赤**くなります。
3. ボックスまたはリモコンの「オン/スタンバイ」ボタンを押してランプの電源を入れます。❷ ボックス側の電源LEDが**青**で点灯し、プロジェクター側の電源LEDが**青**で点滅します。

   起動画面が約30秒間表示され、プロジェクター側の電源LEDが**青で表示されます**。初めてプロジェクターを使用するとき、起動画面が表示された後にクイックメニューから好みの言語を選択することができます。
4. ソース（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。HD81に送ったソースを選択します。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの「ソース」ボタンを押すか、またはリモコンのソースボタンを押すと入力を切り換えることができます。



❖ プロジェクターの電源を入れてから信号源を設定してください。



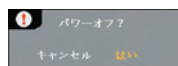
1 レンズキャップ



2 メインの電源スイッチ

プロジェクターの電源を切る

1. ボックスまたはリモコンの「オン/スタンバイ」ボタンを押してプロジェクターのランプの電源を切ると、メッセージがプロジェクターの画面に表示されます。



「オン/スタンバイ」ボタンをもう一度押して確認します。ボタンを押さなければ、5秒後にメッセージが消えます。

2. 正しく接続されている場合は、ボックスの電源LEDが赤く点灯します。 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約30秒間動作を続け、その間プロジェクターの電源LEDは青に点滅します。プロジェクターの電源LEDが赤く点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了し、それからスタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモードに入ったら、ボックスまたはリモコンの「オン/スタンバイ」ボタンを押してHD81を再起動します。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターとボックスから抜きます。

4. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- 「LAMP」インジケータがオレンジに点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。詳細は69ページをご参照ください。

- 「TEMP (温度)」インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクターが過熱状態であることを意味します。プロジェクターの電源が自動的に切れます。
  通常の条件下で、プロジェクターは冷却した後再び電源を入れることができます。それでも問題が解決されない場合、最寄りの代理店またはサービスセンターに連絡する必要があります。詳細は69ページをご参照ください。

- 「TEMP (温度)」インジケータが赤く点滅した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。最寄りの代理店またはサービスセンターにご連絡ください。詳細は69ページをご参照ください。

投写映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットがあります。

映像を上に移動するには：

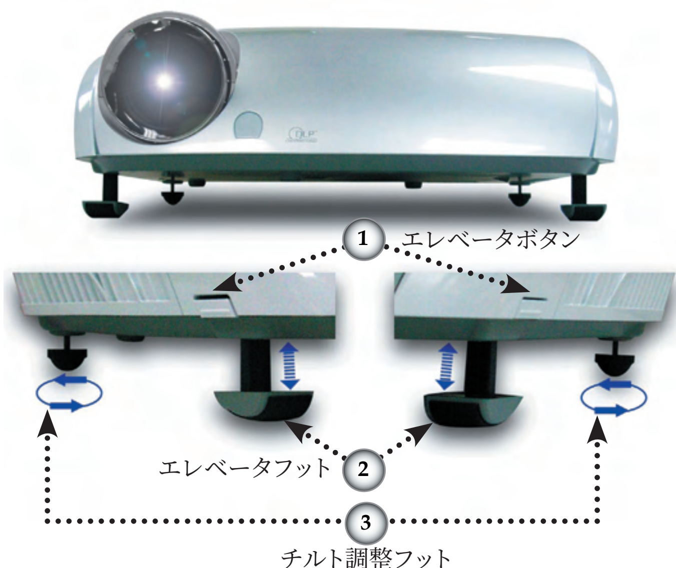
1. エレベータボタンを押します❶。
2. 映像をご希望の高さ（角度）になるまで上げたらボタンから手を離し ❷, エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フットのネジを回して調節してください❸ 。

映像を下に移動するには：

1. エレベータボタンを押します。
2. 映像をご希望の高さ（角度）になるまで下げたらボタンから手を離し、エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フットのネジを回して調節してください ❸ 。



❖投影後の調整は前面の通気口に注意して下さい。やけどの恐れがあります。



プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する

ズームレバーを回してズームインまたはズームアウトします。映像にピントを合わせるには、映像がクリアに表示されるまでフォーカスリングを回します。プロジェクターは1.5から12.0メートルの距離でピントが合い、投射スクリーンサイズは16:9モードでメカニカル移動を使い0.775 m~ 7.62 mになります。

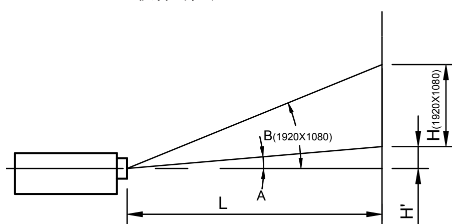


ズームレバー

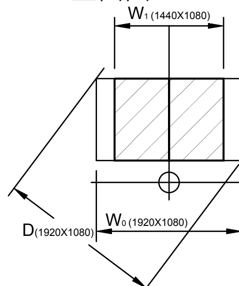
フォーカスリング

投写映像サイズと投写距離（プロジェクターとスクリーンの距離）

側面図



正面図



投影比 (TR)=1.85 (ワイドモード)								
A=6.25°		B (1920x1080)=22.47°		W_0 (1920x1080)=L/TR				
H'=L X tan (A)				W_1 (1440x1080)=W_0 (1920x1080) X 0.75				
H (1920x1080)=W_0 (1920x1080) X 0.56				H (1440x1080)=W_1 (1440x1080) X 0.75				
ディスプレー方式	A	B	L (cm)	W (cm)	H (cm)	H' (cm)	D (cm)	D' (in)
16:9 (1920x1080)	6.25	22.47	245.73	132.83	74.72	26.90	152.40	60.00
4:3 (1440x1080)	6.25	22.47	245.73	99.62	74.72	26.90	124.53	49.03
投射距離 (M)		2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	5.0	6.0
スクリーンサイズ 16:9 (インチ)	Max	48.8	61.0	73.3	85.5	97.7	122.1	146.5
	Min	40.7	50.9	61.0	71.2	81.4	101.7	122.1
スクリーンサイズ 4:3 (インチ)	Max	39.9	49.9	59.9	69.8	79.8	99.8	119.7
	Min	33.3	41.6	49.9	58.2	66.5	83.1	99.8



❖ 1フィート=0.3m、1インチ=2.54cm

コントロールパネルおよびリモコン

機能を設定する方法は、次の2通りあります: コントロールパネルおよびリモコン。

コントロールパネルのボタン



Source (ソース)	「ソース」を押してRGB、Component-p、Component-I、S-VIDEO、Composite Video、HDTVおよびHDMIソースを選択します。
Menu (メニュー)	「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、「メニュー」を再び押します。
4方向選択キー	▲ ▼ ◀ ▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
Enter	選択した項目を確定します。
Re-Sync (再同期)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。



リモコンのボタン	
Power on (電源オン)	プロジェクターの電源を入れます。29～30ページの「プロジェクターの電源オン」を参照してください。
Standby (スタンバイ)	プロジェクターの電源を切ります。29～30ページの「プロジェクターの電源オフ」を参照してください。
Brite mode (ブライトモード)	画像の輝度を上げます。
IRIS	詳細は、51ページの「IRIS」機能をご参照ください。
ISF Day/ISF Night/User1/User2/User3	ディスプレーモードを選択します。40ページの[画像]--> [モード]をご参照ください。
Gamma (ガンマ)	10のガンマカーブがプリセットされています。初期セットアップと微調整が完了すると、ガンマ調整ステップを使用して画像出力を最適化します。
Edge enhance	アドバンストエッジ強調フィルタに対しては、5つのプリセットモードと1つのユーザーモードがあります。モードを切り替えて、異なる効果を出すことができます。
Color vivid	3つのプリセットカラー管理設定と、1つのユーザー定義可能設定があります。モードを切り替えて、異なる効果を出すことができます。
B/W Extension	Black and White Extension は黒と白のレベルを引き伸ばして、入力画像のコントラストを自動的に上げます。
Four Directional Select Keys (4方向選択キー)	▲▼◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
Enter	選択した項目を確定します。
Menu (メニュー)	「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、「メニュー」を再び押します。



V. Shift	投影された画像位置を垂直に移動します。
Demo	この機能では、Edge Enhancement、Colour VividnessB/W Extensionなどの設定を表示するプレビューウィンドウを利用できます。
Overscan	表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。画像ソースのディスプレー画像の端近くにノイズが出る場合、この機能を使用して調整します
16x9/4x3/Native/LBX/Format 1/Format 2	ディスプレー形式を選択します。42ページの「ディスプレー--> フォーマット」をご参照ください。
HDMI 1/ HDMI 2/ HDMI 3	「HDMI 1」/「HDMI 2」/「HDMI 3」を押してHDMI 1/HDMI 2/HDMI 3コネクタからソースを選択します。
S-Video 1/ S-Video 2/ S-Video 3	「S-Video 1」/「S-Video 2」/「S-Video 3」を押してS-Video 1/S-Video 2/S-Video 3コネクタからソースを選択します。
CVBS 1/ CVBS 2/ CVBS 3	「CVBS 1」/「CVBS 2」/「CVBS 3」を押してCVBS 1/CVBS 2/CVBS 3コネクタからソースを選択します。
YPbPr 1/ YPbPr 2	「YPbPr 1」/「YPbPr 2」を押してYPbPr 1/YPbPr 2コネクタからソースを選択します。」
VGA	「VGA」を押してVGAコネクタからソースを選択します。
BNC 1/BNC 2	「BNC 1」/「BNC 2」を押してBNC 1/BNC 2コネクタからソースを選択します。」
Auto (自動)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。

オンスクリーンメニュー

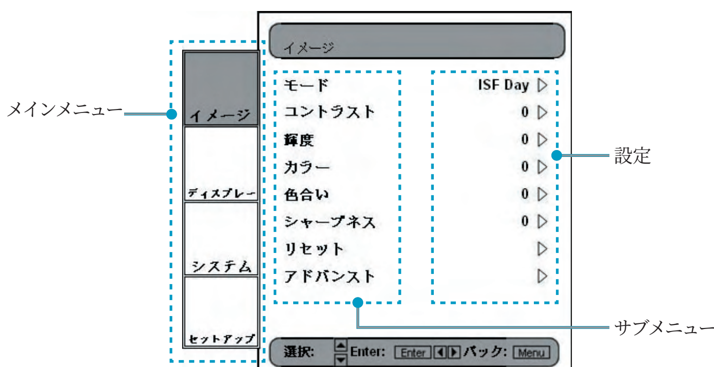
◆ OSDには次の、4つの主なモジュールがあります: イメージ、ディスプレー、システム、*SETUP:*

- イメージは強力なインターフェイスを可能にして、映像を考えられる最高の品質に調整します
- ディスプレーには、異なるスケール形式を入力と出力の両方で設定する機能があります
- システムには、言語、出力解像度の変更など、その他のシステム施行の機能が含まれています
- *SETUP* は、ビデオ入力を設定します

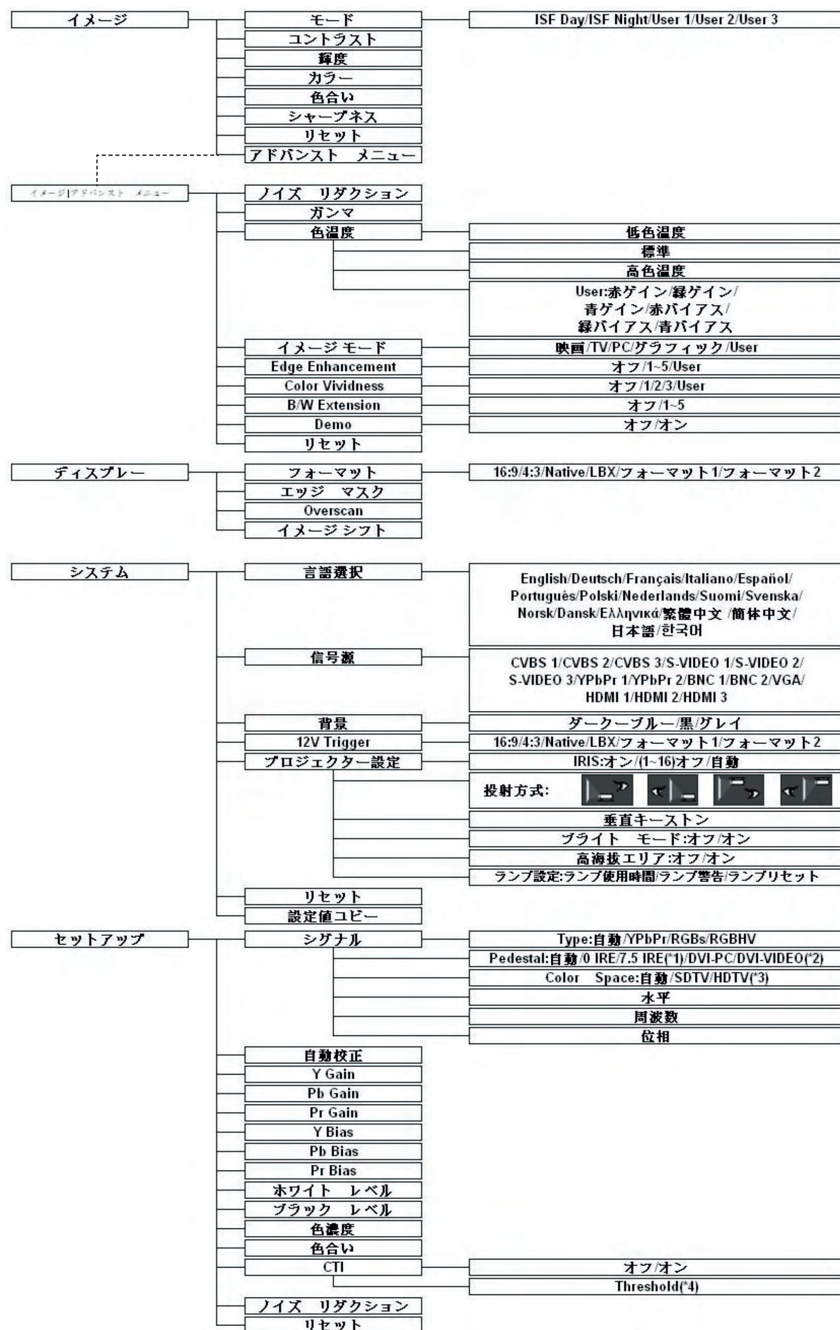
◆ 本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

操作方法

1. オンスクリーンメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] ボタンを押します。
2 OSDが表示されたら、◀ ▶ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼ または「選択(Enter)」キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▲ ▼ キーを使って目的の項目を選択し、◀ ▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [選択(Enter)] を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [メニュー] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



メニューツリー（階層）



イメージ
モード
ISF Day/ISF Night/User 1/User 2/User 3
コントラスト
輝度
カラー
色合い
シャープネス
リセット
アドバンスト　メニュー
イメージ|アドバンスト　メニュー
ノイズ　リダクション
ガンマ
色温度
低色温度
標準
高色温度
User:赤ゲイン/緑ゲイン/
青ゲイン/赤バイアス/
緑バイアス/青バイアス
イメージ モード
映画/TV/PC/グラフィック/User
Edge Enhancement
オフ/1~5/User
Color Vividness
オフ/1/2/3/User
B/W Extension
オフ/1~5
Demo
オフ/オン
リセット
ディスプレー
フォーマット
16:9/4:3/Native/LBX/フォーマット1/フォーマット2
エッジ　マスク
Overscan
イメージ シフト
システム
言語選択
English/Deutsch/Français/Italiano/Español/
Português/Polski/Nederlands/Suomi/Svenska/
Norsk/Dansk/Ελληνικά/繁體中文 /簡体中文/
日本語/한국어
信号源
CVBS 1/CVBS 2/CVBS 3/S-VIDEO 1/S-VIDEO 2/
S-VIDEO 3/YPbPr 1/YPbPr 2/BNC 1/BNC 2/VGA/
HDMI 1/HDMI 2/HDMI 3
背景
ダークーブルー/黒/グレイ
12V Trigger
16:9/4:3/Native/LBX/フォーマット1/フォーマット2
プロジェクター設定
IRIS:オン/(1~16)オフ/自動
投射方式:
垂直キーストン
ブライト　モード:オフ/オン
高海抜エリア:オフ/オン
ランプ設定:ランプ使用時間/ランプ警告/ランプリセット
リセット
設定値コピー
セットアップ
シグナル
Type:自動/YPbPr/RGBs/RGBHV
Pedestal:自動/0 IRE/7.5 IRE(*1)/DVI-PC/DVI-VIDEO(*2)
Color　Space:自動/SDTV/HDTV(*3)
水平
周波数
位相
自動校正
Y Gain
Pb Gain
Pr Gain
Y Bias
Pb Bias
Pr Bias
ホワイト　レベル
ブラック　レベル
色濃度
色合い
CTI
オフ/オン
Threshold(*4)
ノイズ　リダクション
リセット

ユーザーコントロール

イメージ

イメージ	
モード	ISF Day ▷
コントラスト	0 ▷
輝度	0 ▷
カラー	0 ▷
色合い	0 ▷
シャープネス	0 ▷
リセット	▷
アドバンスト	▷

イメージ / ディスプレー / システム / セットアップ

選択: Enter: Enter ◀▶ バック: Menu

ディスプレー

フォーマット	16:9 ▷
エッジ　マスク	オフ ▷
Overscan	0 ▷
イメージ シフト	▷

イメージ / ディスプレー / システム / セットアップ

選択: Enter: Enter ◀▶ バック: Menu

システム

言語選択	日本語 ▷
信号源	YPbPr 1 ▷
背景	ダークーブルー ▷
12V Trigger	▷
プロジェクター	▷
リセット	▷
設定値コピー	▷

Version:

HD81-U B02 2006/06/01

イメージ / ディスプレー / システム / セットアップ

選択: Enter: Enter ◀▶ バック: Menu

セットアップ

シグナル :NTSC	
シグナル	▷
ホワイト　レベル	0 ▷
ブラック　レベル	0 ▷
色濃度	0 ▷
色合い	0 ▷
CTI	オフ ▷
ノイズ　リダクション	オフ ▷
リセット	▷

イメージ / ディスプレー / システム / セットアップ

選択: Enter: Enter ◀▶ バック: Menu

画像調整

- 画像調整モジュールにより、ユーザーは画像をコントラスト、輝度、カラー、色合い、シャープネスのようなよく使う項目などの特別な好みに合わせることができます。上級ユーザーの場合、画像を微調整する複数のオプションを含む「アドバンスト」サブメニューがあります。
- すべての機能は、以下に示すようにリモコンにより操作できます。"▲","▼","◀","▶",「Enter」は、主要な操作ボタンです。



1) リモコンで「メニュー」ボタンを押し、メニューを表示します。
2) "▲", "▼" 矢印キーを使ってイメージカテゴリを選択し、「Enter」 または"▶" キーを押してこの調整カテゴリに入ります。
3) "▲", "▼" 矢印キーを使って目的の調整項目を選択し、「Enter」または "▶" を押してこの調整項目に入ります。OSDが消え、小さな調整バーが表示されます。
4) 他の調整項目を調整するには、"▲", "▼" キーを使って他の調整項目に移動します。
5) 調整が終了したら、「メニュー」ボタンを押して調整項目を終了し、メニューに戻ります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀ を押すとコントラストが下がります。
- ▶ を押すとコントラストが上がります。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀ を押すと画像が暗くなります。
- ▶ を押して画像が明るくなります。

カラー

ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ を押すと画像の色の量が低くなります。
- ▶ を押すと画像の色の量が高くなります。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ を押すとシャープネスが上がります。

リセット

現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

ISF モード

操作を楽にするために、HD81にはISFモードが付いています。

- HD81は非常に優れた「独創的」パフォーマンスを提供しますが、照明やその他の要素がディスプレーデバイスに影響を与えることがあるため、OptomaではISF校正機能を使用することができます。ISF校正の後、ユーザーは2つのISF DayとISF Nightモードを切り替えるだけで画像効果がはっきり出ます。
- DayおよびNightモードは工場でロックされており、ロック解除してセットアップするにはISF校正が必要です。一部の要素がセットアップ時の変数により、工場で設定できないものもあります。DayおよびNightモードの専門的校正により、コントラスト、色合い、シャープネス、カラーレベルおよびその他のパラメータの適切な設定がディスプレーデバイスの使用される環境に正確に一致します。ユーザーが修正できるユーザーモードは3つあり、信号/接続あたり全部で5つの設定をすべての状況に一致させることができます。
- ISF校正の場合、**www.imagingscience.com**にアクセスしてユーザーの領域で認定されたISF技術者をお探しください。



1) ISFモードを選択するには、「メニュー」ボタンを押し、「Enter」または "▶" を使用してイメージジカテゴリを使用した後に、"▲", "▼" 矢印キーを使用して「モード」を強調表示します。「Enter」または "▶" を押してISFモードメニューに入ります。
2) "▲", "▼" を使用して目的のモードを選択します。

ユーザーモード

3つのユーザーモードがあります。ユーザーモードの下のすべての微調整がそれぞれの信号/接続に対して保存されます。

1) ユーザーモードを選択するには、「メニュー」ボタンを押し、「Enter」または "▶" を使用してイメージカテゴリを使用した後に、"▲", "▼" 矢印キーを使用して「モード」を強調表示します。「Enter」または "▶"を押してユーザーモードに入ります。
2) "▲", "▼" 矢印キーを使って、目的のユーザーモードを選択します。
3) User1、User2、User3の3つのユーザーモードがあります。それぞれのモードは、目的の画像パフォーマンスに対して微調整することができます。調整可能パラメータには、コントラスト、輝度、カラー、色合いおよびシャープネスが含まれます。
4) ユーザーは、リモコンの電源ボタンの下にあるモードボタンを使用して、5つのすべてのモードを簡単に切り替えることができます。

ディスプレー設定

フォーマット



ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 入力画像を正しいアスペクト比に一致させるために、16:9、4:3、Native、LBX、フォーマット1、フォーマット2の6つのモードを選択できます。
- 初期設定モードは16:9, 4:3、Native、LBXです。
  - 4:3: このフォーマットは4x3入力ソース用で、ワイドスクリーンTV用に機能強化されていません。
  - 16:9: このフォーマットはワイドスクリーンTV用に機能強化されたHDTV、DVDなどの、16x9入力ソース用です。
  - Native: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
  - LBX: 16x9ではないLetterBoxソースを投写する場合や、16x9外部レンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。

LBXモードに関する詳細情報:

1) LBX DVDコンテンツの中には16x9 TV用に機能強化されておらず、画像が16:9ディスプレーで正しく表示されない場合もあります。

   正しい情報を表示するには、4:3モードを使用できます。

   しかし、コンテンツ自体が4:3でない場合、16:9ディスプレーの画像の回りに黒いバーが表示されます。この種類のコンテンツの場合、LBXモードを使用して画像を16x9ディスプレーに可能な限り表示することができます。

2) 外部16x9レンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレーに対して機能強化されています。

   この場合、黒いバーは表示されず、完全なランプパワーと垂直解像度を最大限に活用して最大の表示効果が達成されます。

   これら2つの場合以外は、ほとんどの表示体験の場合、16:9と4:3モードのままにしておく必要があります。

- このとき、フォーマット1とフォーマット2の正確な縦横比は定義されていません。最大の柔軟性を上げるために、フォーマット1は16:9モードとしてプリセットされ、フォーマット2はレターボックスとしてプリセットされていません。
- ユーザーは、「ディスプレーフォーマット」ボタンを押すことによって、リモコンからそれぞれのモードを素早く選択することもできます。



1) リモコンの「メニュー」ボタンを押します。
2) "▲", "▼" を使ってディスプレーカテゴリを選択して、「Enter」または "を押し、"▶", "▲", "▼" を使って「フォーマット」調整項目を強調表示します。



3) 「Enter」または "▶" を押してこの調整項目を選択します。図に示すように、メニューが消えます。
4) "▲", "▼" 矢印キーを使って、目的のフォーマットを選択します。



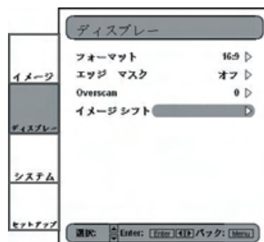
5) 「ディスプレー」メニューでフォーマット1またはフォーマット2を選択すると、ディスプレーのその他の調整は「ディスプレー」モードを終了することで保存できます。確認を求める警告ウィンドウが表示されます。
6) ユーザーはフォーマット1、2で設定を保存するか、「終了/保存しない」を選択して設定を削除することができます。「保存しない」が選択されると、設定はアスペクト比、信号.チャンネルを変更するまで、またはHD81を再起動するまで一時的に保たれます。



❖ (*): フォーマット設定を使って16:9またはLBXとしてフォーマット 2 を変更すると、フォーマットはイメージシフト機能をサポートすることもできます。

イメージシフト調整

- HD81には、イメージシフトとOverscan機能の両方を使用することにより、イメージ位置とサイズを調整してディスプレーのその位置を最適化する機能があります。
- イメージシフトの機能では、フォーマット16:9、LBX、フォーマット1で入力イメージを上、下、左、右にそれぞれの方向あたり最大100ピクセル移動させることができます。



1) リモコンの[メニュー]ボタンを押します。
2) "▲", "▼"を使用してディスプレーカテゴリを強調表示し、「Enter」または"▶" を押してこのカテゴリを選択します。"▲", "▼" 矢印キーを使って「イメージシフト」調整項目を強調表示します。
3) 「Enter」または"▶" を押してこの調整項目に入ります。小さな調整バーが表示されると、ユーザーは "▲", "▼", "◀" と"▶" キーを使ってディスプレーデバイスのスクリーンにもっとも適合するようにイメージを移動することができます。
4) リモコンの「シフト」ボタンを押してイメージを同様に垂直に移動することもできます。リモコンから水平移動することはできません。

	16:9	4:3	Native	LBX	フォーマット1 (初期設定16:9)	フォーマット2 (初期設定4:3)
エッジマスク	O	O	O	O	*	*
Overscan	O	O	X	O	Step 2	Step 2
イメージシフト	O	X	X	O	O	X

O : 使用可能

X : 使用不可

Overscan 調整

Overscan 機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。

エッジ マスク

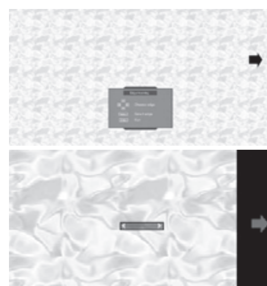
4つのマスク効果 – 上、下、左、右 – があり、黒いバーが入力イメージを隠します。



1) リモコンの[メニュー]ボタンを押します。
2) “▲”, “▼” を使用してディスプレーカテゴリを強調表示し、「Enter」または“▶” を押してこの調整カテゴリを選択します。“▲”, “▼” 矢印キーを使って「エッジ マスク」調整項目を強調表示します。



3) 「Enter」または “▶” を押してこの調整項目に入ります。図に示すように、メニューとサブメニューが消えます。
4) “▲”, “▼” を使って「設定」を選択し、「Enter」または “▶” を押してマスクサイズ設定に入ります。



5) ボタン “▲”, “▼”, “◀”, “▶” を押して、エッジマスクの1つのエッジ/方向(上、下、左、右)を選択します。
終了したら「Enter」を押します。

6) “▲”, “▼”, “◀”, “▶” 矢印キーを使って、エッジサイズを調整します。



7) 「マスクバックカラー」を使って背景色を微調整することができます(グレイレベル)。項目を選択すると、次のようにバーが表示されます。“◀”, “▶” を使ってそれぞれのビットを変更し、“▲”, “▼” を使って値を変更します。値の範囲は0〜255の間です。

アドバンスト調整

イメージ/アドバンスト

- HD81は、強力なイメージエンハンスメントツールです。ノイズリダクション、ガンマカーブ、色温度など、多くの詳細な調整機能が含まれています。これらの機能により、最高のイメージを得ることができます。
- 詳細は、それぞれの項目に関連する章をご参照ください。
- アドバンスト調整にアクセスするには、次の手順に従います。



1) リモコンの「メニュー」ボタンを押します。
2) “▲”, “▼” を使用してイメージカテゴリを強調表示し、「Enter」または “▶”を押してこの調整カテゴリに入ります。“▲”, “▼” を使って「アドバンスト」調整項目を選択します。
3) 「Enter」または“▶” を押してこの項目を選択します。アドバンスト調整項目を含むメニューが表示されます。

ノイズリダクション

HD81により、0～10までの、11レベルのノイズリダクションが可能になります。



1) 前の章で説明したように、アドバンストメニューに入ります。
2) “▲”, “▼” を使って「ノイズリダクション」調整項目を強調表示し、「Enter」または “▶” を押して選択します。OSDが消え、小さな調整バーが表示されます。
3) “◀”, “▶”を使ってお好みのノイズリダクション設定を選択します。値の範囲は0～10の間です。0の値はノイズリダクション機能がオフになっていることを意味します。

ガンマ

HD81 には、10のプリセットガンマカーブが付いています。初期セットアップと微調整が完了すると、ガンマ調整ステップを使用してイメージ出力を最適化します。



1) 前の章で説明したように、アドバンストメニューに入ります。
2) “▲”, “▼” を使って「ガンマ」調整項目を強調表示し、「Enter」または “▶” を押して選択します。OSDが消え、小さな調整バーが表示されます。
3) “◀”, “▶”を使ってお好みのガンマ値を選択します。値の範囲は-5～5の間です。0の値は、直線のガンマカーブと同じです。

イメージモード

簡単で、楽な操作ができるように、HD81にはイメージのプリセットモードが付いています。
SETUPおよびIMAGEで前部が正しく微調整されると、プリセットモードを切り替えるだけで異なるイメージ効果を出すことができます。

1) "▲", "▼" 矢印キーを使って「イメージモード」調整項目を選択し、「Enter」キーまたは "▶" キーを押してこの調整項目に入ります。
2) "◀", "▶" 矢印キーを使って、お好みのイメージモードを選択します。プリセットモードには映画、TV、グラフィック、PCおよび1ユーザーモードの5つのモードがあります。それぞれのモードは目的とする特定のイメージパフォーマンス用に微調整されます。次の説明をご参照ください。
   - 映画: 映画館のイメージパフォーマンスをシミュレートし、より大きな映像深度でより暗く、「. lmに近い」映像を実現し、真っ暗な室内環境に適しています。
   - TV: 標準モードは明るく、より「TVに近い」映像が表示されます。
   - グラフィック: このモードはイメージソース用です。
   - PC: このモードはPCソース用です。
   - User: このモードにより、このイメージモードにおけるユーザーのガンマカーブを記憶することができます。



3) ユーザーは「User」モードでお気に入りの設定を選択してセットアップし、サブメニューを調整すると次のように表示されます。
4) "◀"と "▶" 矢印キーを使って異なる入力レベルを選択するか、「リセット」機能を選択します。ユーザーはそれぞれの入力レベルで"▲", "▼" を使って出力値を調整することができます。
5) レベルを調整している間に完全なグレイレベルバーがスクリーン上部に表示されます。これを使えば、異なる値の異なる効果を見て適切な値を判断することが簡単にできます。
6) ガンマカーブを「直線」として設定したい場合、"◀"または "▶" 矢印キーを使って「リセット」に移動し、「Enter」を押して確認通知で「はい」を選択すると、ガンマカーブは「直線」に戻ります。「リセット」および「直線」としてガンマカーブを選択すると、前のセットアップ値はすべて削除されます。

色温度

HD81には、3つの色温度がプリセットされています。ユーザーはプリセットを切り替えて目的のイメージを得ることができます。



1) 前の章で説明したように、アドバンストメニューに入ります。
2) "▲", "▼" を使って「色温度」調整項目を強調表示し、「Enter」または "▶" を押して選択します。





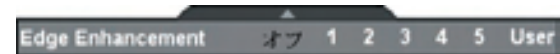
3) "◀", "▶" 矢印キーを使って、初期設定モードを選択します。
4) ユーザーモード調整の場合、「User」にカーソルを置き、「Enter」を押してこの調整項目を選択します。
5) "▲", "▼" を使って目的の調整項目を強調表示し、「Enter」または"▶" を押してその項目を選択します。メニューが消え、調整バーのみが表示されます。
6) "◀", "▶"矢印キーを使って、イメージを調整します。

Edge Enhancement

アドバンストエッジ強調フィルタに対しては、5つのプリセットモードと1つのユーザーモードがあります。モードを切り替えて、異なる効果を出すことができます。

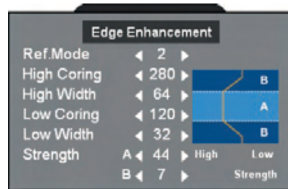


1) "▲", "▼" 矢印キーを使って「Edge Enhancement」調整項目を選択し、「Enter」キーまたは "▶" キーを押してこの調整項目に入ります。メニューが消え、小さな調整バーが表示されます(次の図を参照)。
2) "◀", "▶" 矢印キーを使って、初期設定モードを選択します。



3) ユーザーモード調整の場合、「User」にカーソルを置き、「Enter」キーを押してこの調整項目に入ります。メニューが消え、サブ調整メニューが表示されます(次の図を参照)。

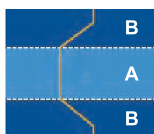
4) "▲", "▼" 矢印キーを使って「Edge Enhancement」バーを選択し、"◀", "▶" 矢印キーを押して異なるエンハンスメントを調整します。



5) 「User」オプションでそれぞれのモード(1～5)に対して異なる設定を選択してセットアップし、サブメニューを調整すると、次のように表示されます。1つのモードを選択し「Enter」を押すとそれぞれの項目のオリジナル設定が表示されます。それぞれのモードのオリジナル設定ごとに値を調整することができます。

6) 最初の項目「Ref. mode」には5つの初期設定値のセットがあり、High Corning、High Width、Low Corning、Low Width、Strength A &Bを微調整することができます。それぞれの項目の値を変更すると、古い値を保存せずに更新された値が記憶されます。

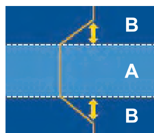
調整項目については、次の説明とグラフィックをご参照ください。



1) 垂直座標は、スクリーンで選択した領域の輝度オフセットです。低い輝度オフセットは、スクリーンの選択した領域に人の皮膚や背景などの項目用の滑らかな輝度があることを意味します。高い輝度は、エンハンスメントが限定されていることを意味します。
これにより、異なるゾーン(AおよびB)を設定し、微調整することができます。ゾーンAはエンハンスメントの1次領域で、ゾーンBは調整が最小限であるかまたはまったくない領域です。

2) 「High Corning」と「Low Corning」を使って、AゾーンとBゾーンを分割します。

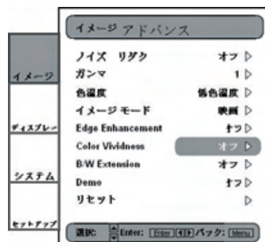
3) 「Strength」AおよびBを使って、異なるレベルのEdge enhancementを獲得します。Strength Aの値はStrength Bの値よりも高くなっています。



4) High WidthとLow Width微調整では、AとBゾーン間の設定をスムーズにします。

Colour Vividness

HD81には、3つのプリセットカラー管理設定と、1つのユーザー定義可能設定があります。モードを切り替えて、異なる効果を出すことができます。



1) “▲”, “▼” 矢印キーを使って「Colour Vividness」調整項目を選択し、「Enter」キーまたは “▶” キーを押してこの調整項目に入ります。メニューが消え、小さな調整バーが表示されます(次の図を参照)。
2) “◀”, “▶” 矢印キーを使って、初期設定モードを選択します。



3) ユーザーモード調整の場合、「User」にカーソルを置き、「Enter」キーを押してこの調整項目に入ります。メニューが消え、サブ調整メニューが表示されます(次の図を参照)。
4) “▲”, “▼” 矢印キーを使って目的の調整項目を選択し、“◀”, “▶” 矢印キーを押してイメージを調整します。
5) ユーザーは「User」でお気に入りの設定を選択してセットアップし、サブメニューを調整すると次のように表示されます。(彩度と調整の詳細は、次の説明とグラフィックをご参照ください)。
<1> カラー(緑、青、シアンブルー、黄、マゼンタ、赤)を選択し、「彩度」または「色合い」を微調整に移動します。
<2>「彩度」を入力して縦のグラデーションをレベル0～15の範囲で「レベル」(輝度レベル)を調整し、選択したそれぞれのレベルに従い彩度の値を-100～100の範囲で調整します。





<3>「色合い」を入力して縦のグラデーションをレベル0～15の範囲で「レベル」(輝度レベル)を調整し、選択したそれぞれのレベルに従い彩度の値を-30～30の範囲で調整します。





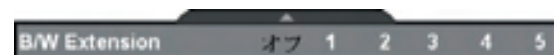
<4>カラーレベルがスクリーン上部に表示されるので、ユーザーは異なる値を持つ彩度または色合い効果を見ることができます。
<5> 彩度または色合い調整の「リセット」オプションは、すべてのレベル(0～15)の彩度値または色合い値をリセットします。
レベル15を移動しな "▲" 矢印キーを押すか、レベル10を移動しながら "▼" 矢印キーを押して「リセット」オプションを選択します。

6) カラーレベルバーがスクリーン上部に表示されるので、ユーザーはcolour vividness効果を見ることができます。
7) メニューの項目「リセット」ボタンは選択した現在の「カラー」の彩度と色合いの値用で、「Enter」を選択して設定をリセットしている間に確認通知が表示されます。

B/W Extension

Black and White Extension は黒と白のレベルを引き伸ばして、入力イメージのコントラストを自動的に上げます。HD81には5つのプリセットモードがあり、プリセットを切り替えて異なるイメージ効果を得ることができます。

1) "▲", "▼" 矢印キーを使って「B/W Extension」調整項目を選択し、「Enter」キーまたは "▶" キーを押してこの調整項目に入ります。メニューが消え、小さな調整バーが表示されます(次の図を参照)。
2) "◀", "▶" 矢印キーを使って、初期設定モードを選択します。



Demo モード

この機能では、Edge Enhancement、Colour VividnessB/W Extensionなどの設定を表示するプレビューウィンドウを利用できます。

1) 「Demo」を選択すると、電源オン/オフバーが次のように表示されます。
"◀", "▶" 矢印キーを使用して、機能のオン/オフを切り替えます。
2) Demo機能をオンにすると、長方形のフレームが表示されます。"▲", "▼" キーを押すと、フレームが移動します。
3) これらの項目Edge Enhancement、Colour Vividness、B/W Extensionを調整している間、すぐ前に強化したパフォーマンスのみが表示されます。



リセット

現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

システム調整



言語選択

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの “◀”または “▶” を押し、“▲”または “▼”キーを使ってお好みの言語を選択します。「選択(Enter)」を押して選択を終了します。

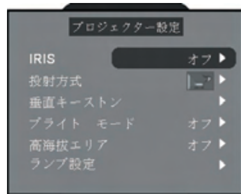
プログラマブル12V Trigger

異なるアスペクト比に従ってオンまたはオフに編集できる12V Triggerが1つあります。(詳細は42ページをご参照ください)。



1) リモコンで「メニュー」ボタンを押し、OSDを表示します。
2) “▲”, “▼” 矢印キー使用してシステムカテゴリを選択し、「Enter」または “▶” キーを押してこの調整カテゴリに入ります(図参照)。
3) “▲”, “▼” 矢印キーを使って「12V Trigger」項目を選択し、「Enter」キーまたは “▶” キーを押してこの項目に入ります。OSDが消えサブメニューが表示されます(次の図を参照)
4) “▲”, “▼”, “◀”, “▶” 矢印キーを使って、12V Trigger出力をプログラムします。
5) それぞれのフォーマットがオンまたはオフとして設定されると、12 Triggerの機能はフォーマットがユーザーによって変更されるたびに、それに従って自動的にオンまたはオフになります。





プロジェクター設定

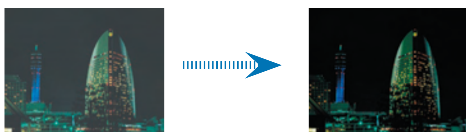
IRIS

IRIS機能は、レンズ口径を開いたり閉じたりすることによってコントラストを光学的に調整されます。アイリスはツリーモード、オフ(閉じる)、オン(開く)、自動間で切り替えることができます。
IRISボタンを押すと、現在の設定が表示されます。設定が表示されている間このボタンを再び押すと、設定を変更できます。IRISがオフ状態、オン状態、自動状態間で移動するには、約6秒かかります。



- オフ: オフが選択されていると、イメージは明るくなります。

- オン: オンが選択されていると、イメージの黒レベルが再現され、輝度が下がるに従ってますます明瞭になります。16のステップで調整できます。
- 自動: ダイナミック画像パフォーマンスマネージャがアクティブになっていると、映画のもっとも暗い細部まで明瞭に再現され、全編を通して鮮明で明るい画像パフォーマンスをお楽しみいただけます。



投射方式

- フロント

  工場出荷時の初期設定。

- リア

  この機能を選択すると、プロジェクターは反転した映像に表示することができるため、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

- フロントー天井

  この機能を選択すると、プロジェクターは映像の上下を逆にすることができるため、プロジェクターを天井に取り付けることができるようになります。

- リアー天井

  この機能を選択すると、プロジェクターは反転した映像に表示し、更に上下を逆にすることができます。天井に取り付けたプロジェクターで半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

垂直キーストン

◀または▶を押すと、画像の垂直の歪みが調整されより正方形に近い画像が得られます。

ブライトモード

「オン」を選択すると明るさが増します。[オフ] を選択すると通常モードに戻ります。

高海抜エリア

プロジェクターを高海抜エリアで使用する場合、機械を冷却するために高海抜項目で”オン”を選んでください。

ランプ設定

この機能は、ランプに関するセットアップを調整します。



- ランプ使用時間: ランプの累計運転時間を表示します。
- ランプ警告: ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。
- ランプリセット: ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

コピーの設定

この機能により、ユーザーが調整する画像設定をコピーすることができます。



	グループ 1	グループ 2	グループ 3			グループ 4		グループ 5	
I/O から	HDMI 1/2/3	HDMI 1/2/3	HD 1/ HD 2 (RCA)	HD 3/ HD 4 (BNC)	D-Sub	HD 3/ HD 4 (BNC)	D-Sub	S 1/ S 2/ S 3	ビデオ 1/ ビデオ 2/ ビデオ 3
タイミング	480i		480i	480i	480i			NTSC	NTSC
	480p		480p	480p	480p			PAL	PAL
	576i		576i	576i	576i				
	576p		576p	576p	576p				
	720p		720p	720p	720p				
	1080i/p		1080i	1080i	1080i				
		PC				PC	PC		

(*) HD はコンポーネントを意味します。PC信号はPC信号にのみコピーできます

リセット

すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

セットアップ設定

信号

- 初期セットアップの間、カラーと画像品質の調整を行う必要があります。初期セットアップが完了した後、HD81は最適の画像表示用の設定を自動的の保存します。
- HD81 OSDは、ビデオソース信号に依存します。
  それぞれの入力で異なるOSDディスプレーを表示するように設計されています。それぞれの信号の使用できる調整については、以下の表AとBをご参照ください。
- VGAとBNC接続を除き、HD81が入力ソースデバイスから信号を受信していない場合、OSDではシステムセットアップモジュールのみを調整できます。

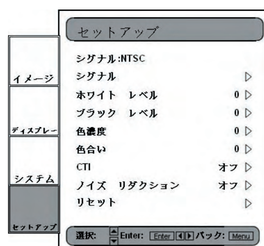
表 A	コンポジット	S-ビデオ	RCA	BNC	
	ビデオデコーダ	ビデオデコーダ	YPbPr	YPbPr	RGBsRGB
Type				自動 YPbPr, RGBs, RGB	
Color Space			Auto, SDTV, HDTV	自動、SDTV, HDTV	
Pedestal	0IRE, 7.5IRE	0IRE, 7.5IRE	0IRE, 7.5IRE	0IRE, 7.5IRE	
水平			-50~50	-50~50	-50~50
垂直			-7~7	-7~7	-7~7
周波数			-10~10	-10~10	-10~10
位相			0~31	0~31	0~31

表 B	VGA		HDMI
	YPbPr	RGBsRGB	
Type	自動 YPbPr, RGBs, RGB		
Color Space	自動、SDTV, HDTV		自動、SDTV, HDTV
Pedestal	0IRE, 7.5IRE		DVI-PC, DVI-Video
水平	-50~50	-50~50	
垂直	-7~7	-7~7	
周波数	-10~10	-10~10	
位相	0~31	0~31	

* グレイカラーの点滅はN/Aを表します。



❖「水平」と「垂直」を調整しているときは用心してください。値が範囲から外れると、画像が失われる原因となります。入力信号を受信できない場合のみ、この調整を使用することをお勧めします。



1) リモコンで「メニュー」ボタンを押し、メニューを表示します。“▲”, “▼” 矢印キーを使ってセットアップカテゴリを選択し、「Enter」または “▶” キーを押してこの調整カテゴリに入ります。



2) 最初の行は現在の信号を表示しています。“▶”、矢印キーを使って「信号」項目を選択します。現在の信号によっては調整用の異なる項目が表示されることがあります。



3) 「Enter」または “▶” を押して項目に入ります。次ページで示すように、現在の信号に従ってバーが表示されます。

4) 「Enter」または“▶” を押して項目に入ります。次ページで示すように、現在の信号に従ってバーが表示されます。



5) Type、Pedestal、Color Spaceの場合、“◀” と “▶” を使用して目的の選択を行い、「Enter」を押して確定します。残りの項目の場合、“◀” と “▶” を使ってスライダバーを調整し目的の効果を上げたら、「Enter」を押して確定します。使用可能な値の範囲については、表AおよびBをご参照ください。

Type

この機能は、BNC信号専用です。初期設置の選択、自動は信号の種類を自動的に検出します。他の3つの選択(YPbPr、RGBHV、RGB)では、HD81が選択した信号の種類を強制的に表示します。

Pedestal

黒レベルコントロール: HDMIの傍に接続されたデバイスはすべて、0 IREまたは7.5 IREの2つのプリセットから選ぶことができます。HDMIデバイスはDVI-PCまたはDVI-Videoから選択することができます。DVI-PCは0 IREに対応し、DVI-Videoは7.5 IREに対応しています。

Color Space

初期設置の選択、自動は使用する色空間を自動的に検出します。他の2つの選択肢(SDTV、HDTV)では、HD81がSDTVまたはHDTVに関連づけられた色空間マッピングを強制的に使用します。

水平

水平位置を調整します。

周波数

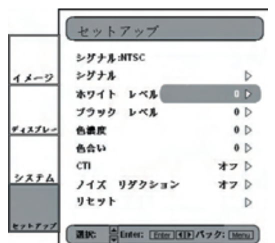
ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。

位相

ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

自動校正

HD81は「自動校正」機能を特徴にしています。これにより、ビデオ映像は自動的に最適化され、調整されます。



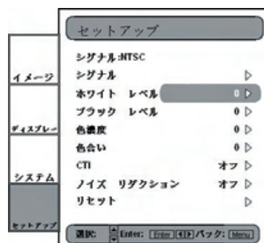
1) 「メニュー」ボタンを押すと、OSDが有効になります。
2) "▲", "▼" 矢印キーを使ってセットアップカテゴリを選択し、「Enter」または "▶" キーを押してこの調整カテゴリに入ります
3) "▲", "▼" 矢印キーを使って、目的の調整項目を選択します(図参照)。



4) 「Enter」または "▶" を押してこの項目に入ります。図に示すように、メニューが消え小さなバーが表示されます。
5) "◀", "▶" 矢印キーを使って、自動校正のオン/オフを切り替えます。
6) 「自動校正」が有効になると、HD81はイメージを校正して微調整し最適のパフォーマンスを発揮します。

S-ビデオとコンポジットビデオ

本章では、S-ビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、セットアップ操作について説明します。



1) 前章で説明したように、セットアップに入ります。



2) “▲”, “▼” 矢印キーを使って調整項目を選択し、「Enter」または “▶” を押してこの項目に入ります。図に示すように、メニューーが消え小さなバーが表示されます。
3) “◀”, “▶ 矢印キーを使って、校正します。

ホワイトレベル

S-ビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。

ブラックレベル

S-ビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ブラックレベルを調整できます。

彩度

ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ を押すと画像の色の量が減少します。
- ▶ を押すと画像の色の量が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

CTI

カラートランジェントインプルーバ。この機能により、カラートランジェント値を調整して人工的な向上点とほとんどにじみのない画像が得られ、飽和色トランジェントが実現します。

DNR
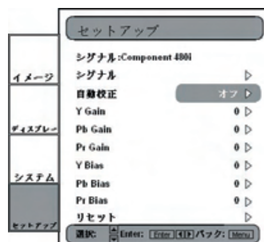
デジタルノイズリダクション。モーション適応ノイズリダクションは、インタレースされたビデオの品質を大幅に向上しています。

リセット

現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

コンポーネントYPbPr

本章では、コンポーネントYPbPr信号を入力しているときのセットアップの操作について説明します。



1) 前章で説明したように、セットアップに入ります。



2) "▲", "▼" 矢印キーを使って調整項目を選択し、「Enter」または"▶" を押してこの項目に入ります。図に示すように、メニューが消え小さなバーが表示されます。
3) "◀", "▶ 矢印キーを使って、校正します。

自動校正

詳細は、56ページの「自動校正」機能をご参照ください。

Y Gain

Yのゲインを調整します。

Pb Gain

Pbのゲインを調整します。

Pr Gain

Prのゲインを調整します。

Y Bias

Yのバイアスを調整します。

Pb Bias

Pbのバイアスを調整します。

Pr Bias

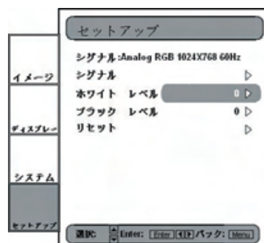
Prのバイアスを調整します。

リセット

現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

Analog RGB

本章では、Analog RGB信号(PC)を入力しているときのセットアップの操作について説明します。



1) 前章で説明したように、セットアップに入ります。



2) "▲", "▼"矢印キーを使って調整項目を選択し、「Enter」または"▶" を押してこの項目に入ります。図に示すように、メニューが消え小さなバーが表示されます。
3) "◀", "▶"矢印キーを使って、校正します。

ホワイトレベル

S-ビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。

ブラックレベル

S-ビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ブラックレベルを調整できます。

リセット

現在のメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。(詳細は、69ページをご参照ください)

画像の問題

スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
  プロジェクターとボックス間のRS-232ケーブルとHDMIケーブルだけでなく、ソースからボックスに接続されているケーブルも確認してください。
- プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください
- プロジェクターに「青い」画像しか表示されない場合、コントローラボックスの電源が入っているかどうか、またコントローラボックスとプロジェクター間のHDMI (#)接続を確認してください。



❖(#) HD81のブレークオフ規則: 63ページのLED点灯メッセージをご参照ください

画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない

- リモコンまたはコントロールパネルでHD81に割り当てたソースダイレクトキーを押します。
- PC使用時:
  Windows 95, 98, 2000, XP:

1. [マイコンピュータ] アイコンから[コントロールパネル] フォルダを開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
2. [設定] タブを選択します。
3. ディスプレー解像度設定がSXGA+ (1400 x 1050)以下であることを確認します。(*)
4. [詳細] ボタンをクリックします。

それでもプロジェクターから画像全体が投写されない場合は、現在使用しているモニタディスプレーを変更する必要があります。次のステップをご参照ください。

5. 解像度設定がSXGA+ (1400 x 1050)解像度以下であることを確認します。



❖(*) 解像度: このプロジェクターでは、HDMI's 1920 x 1080 i/pおよびコンポーネントの1920 x 1080 iを推奨します。

6. [Monitor（モニタ）] タブの[Change（変更）] ボタンを選択します。
7. 次に、SPボックスで [Standard monitor types（標準モニタタイプ）] を選択し、[Models（モデル）] ボックスで必要な解像度モードを選択します。
8. モニタディスプレーの解像度設定がSXGA+ (1400 x 1050)以下であることを確認します。(*)



❖(*) 解像度: このプロジェクターでは、HDMI's 1920 x 1080 i/pおよびコンポーネントの1920 x 1080 iを推奨します。

- ノートパソコン使用時 :

1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
2. 次に、トグル出力設定を押します。例 : [Fn]+[F4]

Compaq=>	[Fn]+[F4]	Hewlett-Packard	=>	[Fn]+[F4]
Dell =>	[Fn]+[F8]			
Gateway=>	[Fn]+[F4]	NEC=>		[Fn]+[F3]
IBM=>	[Fn]+[F7]	Toshiba =>		[Fn]+[F5]

Mac アップル: システム環境設定 --> ディスプレー --> 調整 --> ミラーディスプレー

- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。
  1.他のデバイス(DVDプレーヤー、チューナーなど)を使っている場合、ボックスに接続されているデバイスとケーブルが破損していないことを確認してください。

? ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない

- ノートパソコン使用時 :
  ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレー機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

? 画像が不安定またはちらつく

- [周波数] を使って修正してください。詳細は、56ページをご参照ください。
- コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

? 映像に縦の縞模様が出る

- [位相] を調整してください。詳細は、56ページをご参照ください。
- グラフィックカードのディスプレーモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- プロジェクターと投写スクリーン間の要求される距離が1.5～12.0 m以内にあることを確認してください。32ページをご参照ください。

16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる

アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
LBXフォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。

- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレーフォーマットをセットアップしてください。

画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- リモコンで[4:3]、[16:9]、[LBX]、[Native]ボタンを、またはプロジェクターのパネルで[メニュー]を押し、[ディスプレー-->フォーマット]をポイントします。別の設定を試みてください。

画像の両側が斜めになる:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- [メニュー]ボタンを押し、[システム] -->[プロジェクター] -->[垂直キーストン]をポイントして、リモコンで側面が垂直になるまで調整します。



❖キーストンの使用はお勧めしません。

映像が反転する

- スクリーンメニューから [システム] --> [プロジェクター]-->[投射方式] を選択し、投写方向を調整してください。

中断の問題

HD81がすべてのコントロールへの反応を停止する

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」(66ページ)に記載の手順に従ってランプを交換してください。



点灯 => ☼
消灯 => ○

LED の問題

HD81のプロジェクター側

通常操作 (メッセージ)	電源LED			ランプLED		温度LED	
	赤	ダークブルー	ライトブルー	おレンジ	青	赤	青
スタンバイ状態(電源コード接続済)	☼	○	○	○	○	○	○
電源オン(ウォーミング)	○	○	☼	○	○	○	○
ダークLED(映画用)(電源を入れて5分後)	○	☼	○	○	○	○	○
電源オフ(冷却)	○	○	点滅	○	○	○	○
エラー(ランプトラブル)	○	○	☼	点滅	○	○	○
エラー(ファントラブル)	○	○	☼	○	○	点滅	○
エラー(過熱)	○	○	☼	○	○	☼	○
エラー(HDMI接続トラブル (*2))	○	○	☼	○	点滅	○	○
エラー(RS232接続トラブル (*2))	○	○	☼	○	○	○	点滅

HD81のボックス

通常操作メッセージ	電源LED	
	赤	ライトブルー
スタンバイ状態(電源コード接続済)	☼	○
電源オン(ウォーミング)	○	☼

LED点灯メッセージ

- Ps1:

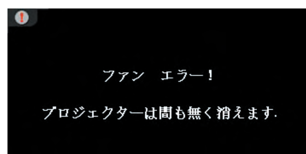
1. オレンジと青のLEDが同時に表示されると、カラーはライトパープルに表示されます。
   赤と青のLEDが同時に表示されると、カラーはパープルに表示されます。

- Ps2: (*) HD81のブレークオフ規則:

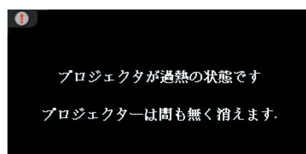
1. RS-232 の通信障害:
   OSDに「RS232をもとに戻らないとプロジェクターは30秒以内自動的オフします。」というメッセージが表示されます。
   コントローラボックスとプロジェクター間のRS232接続を確認してください。
2. HDMI の通信障害。
   画面に、青い画像しか表示されません。
   コントローラボックスとプロジェクター間のHDMI接続を確認してください。HDMIケーブルをプロジェクターとボックス背面に接続してください。さもないと、画面には常に青い画像しか表示されません。
3. RS-232と HDMI の通信障害
   画面に、青い画像しか表示されません。
   コントローラボックスの電源が入っているかどうか、またコントローラボックスとプロジェクター間のRS-232とHDMI接続を確認してください。または、RS-232とHDMI接続が復元されなければ、プロジェクターは30秒後にシャットダウンします。
4. プロジェクターとボックス間のRS232がスタンバイモードで接続されていない場合、HD81の電源は入りません。
5. HD81がスタンバイモードに入っている場合、HD81はHDMIの接続トラブルなのか、そうでないのかを表示できません。

警告メッセージ

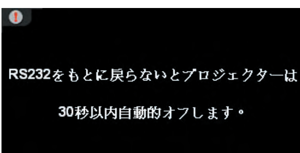
- ファンのトラブル:



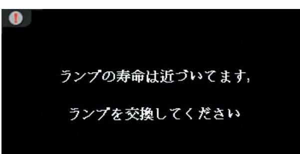
- 過熱:



- RS232 の接続トラブル:



- ランプの交換:





❖プロジェクター側に赤外線レシーバーはありません。

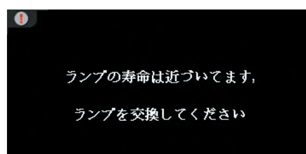
赤外線レシーバーは、ボックス側と赤外線モジュール側にのみあります。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が約±22.5°になっていることを確認する。
- リモコンとHD81のボックスの間に障害物がないことを確認する。HD81のボックスから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 電池残量がなくなっていないか確認する。残量がなくなっている場合、リモコンの電池を交換する。

ランプの交換



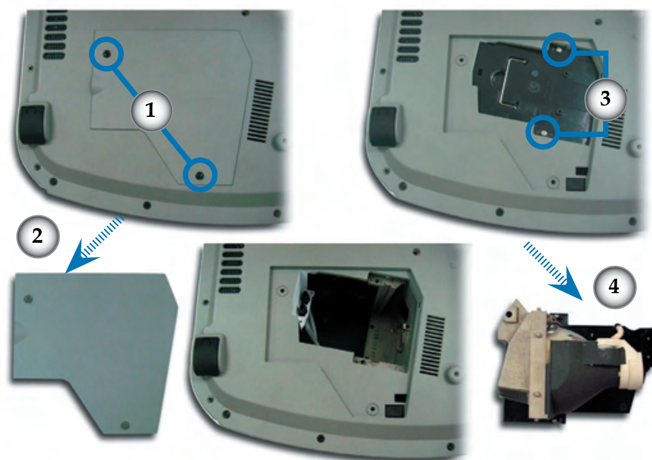
プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



⚠警告: ランプ周辺は高熱になっています! 冷却するまでお待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。





⚠警告: 怪我を防ぐため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。
バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

ランプ交換手順:

1. [電源] ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーに取り付けられているネジを、ドライバーで取り外します。❶
5. カバーを押し上げて取り外します。❷
6. ランプモジュールの2本のネジを取り外します。❸
7. ランプモジュールを引き上げます。❹

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

8. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
   ランプリセット: (i)[メニュー]を押し--> ii)[システム]を選択し--> (iii)[プロジェクター]を選択し-->(iv)[ランプ]を選択し-> (v)[ランプリセット]を選択し (vi)[はい]を選択します。

アナログ入力における互換モード

モード	解像度	垂直周波数(Hz)
VESA VGA	640 x 480	60,72,75,85
VESA VGA	848 x 480	60
VESA VGA	720 x 400	70,85
VESA SVGA	800 x 600	56,60,72,75,85
VESA XGA	1024 x 768	60,70,75,85
VESA WXGA	1280 x 768	60,70,75
HD	1280 x 720	60



注: “*”は圧縮コンピュータ画像です。

デジタル入力における互換モード

モード	解像度	垂直周波数(Hz)
VESA VGA	640 x 480	60,72,75
US TEXT	720 x 400	70
VESA SVGA	800 x 600	60,72,75
VESA XGA	1024 x 768	60,70,75
ワイド	1280 x 720	50,60
ワイド	1920 x 1080	24,60

天井への取り付け

1. プロジェクターの破損を避けるため、設置には天井設置パッケージを使ってください。
2. 他社製の天井設置キットをご利用になる場合、プロジェクターの取り付けに使用するネジが次の仕様に適合してるかをご確認してください。
   - **ネジの種類: M4**
   - **プロジェクター内部の最大ネジ山長 10mm**
   - **プロジェクター内部の最小ネジ山長 8mm**

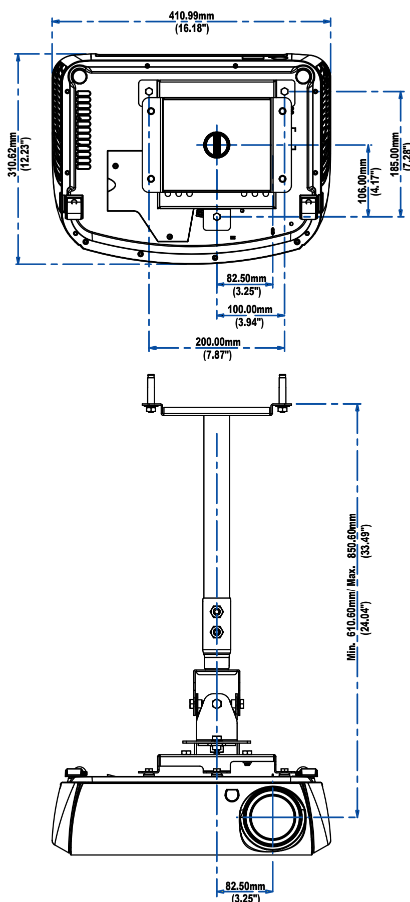


❖不適切な設置による破損は保証の対象になりません。



⚠警告:

1. 天井設置キットを他社からご購入された場合は、プロジェクターの底面を、最低でも10cm以上天井から離して設置してください。
2. エアコン、ヒーターなどの熱を発する機器から離して設置してください。熱源の近くに設置した場合は、プロジェクターが過熱し自動的に電源が切れる可能性があります。



Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optomausa.com
電話: 408-383-3700
Fax(アメリカ): 408-383-3702
メールアドレス: service@optoma.com

カナダ

120 West Beaver Creek Road Unit #9
Richmond Hill, ON L4B 1L2, Canada
電話: 905-882-4228
Fax: 905-882-4229
www.optoma.com

Europe

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
電話: +44 (0) 1923 691 800
Fax: +44 (0) 1923 691 888
www.optomaeurope.com
Service Tel : +44 (0)1923 691865
メールアドレス : service@tsc-europe.com

台湾

231 台北県新店市
民権路108号5階
中華民国
メールアドレス : services@optoma.com.tw
電話: +886-2-2218-2360
Fax: **+886-2-2218-2313**
www.optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

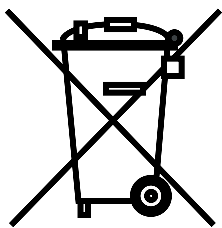
Room 2507, 25/F., China United Plaza,
No. 1008 Tai Nan West Street, Lai Chi Kok, Kowloon, Hong Kong
電話:+852-2396-8968
Fax: +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China
電話: +86-21-62947376
Fax: +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optoma.com.br
電話: 408-383-3700
Fax: 408-383-3702
www.optoma.com.mx



WEEE

Disposal of old Electrical & Electronic Equipment (Applicable throughout the European Union and other European countries with separate collection programs)

This symbol found on your product or on its packaging, indicates that this product should not be treated as household waste when you wish to dispose of it. Instead, it should be handed over to an applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences to the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate disposal of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources.

This symbol is only valid in the European Union.

If you wish to discard this product, please contact your local authorities or dealer and ask for the correct method of disposal.

株式会社ホームシアター

〒120-0005

東京都足立区綾瀬3-25-18

TEL:+81-3-5616-0690　FAX:+81-3-3629-8828

April 2006 Printed in Taiwan